



札幌支部 支部長
酒 勾 桂 子

現在までの支部の活動・現状に関する報告および令和2年以降の方針・展望について

皆様 新年あけましておめでとうございます。

昨年はウィズコロナの一年、皆様はどのような生活・業務環境でありましたでしょうか？今年度支部事業は、書面総会からはじまり、会員交流会、三支部合同研修会、対外広報活動、新春セミナー、新年交礼会、支部設立記念事業等は、やむなく中止、延期、規模縮小の決定をせざるを得ない状況になりました。

一方、行政書士制度周知活動である広報月間では、行政機関や関係団体に政府からの交付金申請等には行政書士の活用を呼びかけ、札幌市周辺の市から支部へ申請業務の支援依頼もありました。今後は札幌市周辺の市と積極的に情報交換を図り、地震・風水害等の大規模自然災害時支援と同様に、ウィズコロナ社会において一層、行政と地域企業・住民の架け橋となる士業であることを自覚いたしました。

今後、コロナ社会で多く導入されているオンライン研修会やZOOM会議による部会等への導入の可能性について検討し、コロナ終息の際にこのコロナ対応スタイル研修会や会議を通常事業に織り込んでいけば、経費削減、研修会参加の機会増、時間の有効活用等のメリットになると思われれます。

最後に、コロナ終息宣言が発せられるまで不便な状況ではありますが、皆様にとりましてこの一年充実した時間をお過ごしされますようご祈念申し上げます。



空知支部 支部長
新 川 恵 司

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には新春を迎え謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より、会員の皆様並びに本会の皆様そして本会事務局の皆様には、当支部の事業運営につきまして格別のご指導ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの影響から、事業の延期・中止等様々な影響を受け、予定されていた事業を進めることが困難な状況にありました。

新型コロナウイルス感染症については、まだまだ感染経路や治療法、有効なワクチンの開発等未だ未解明なところが多く、終息が見込めない状況ではありますが、今のところ手洗いやマスクの着用等個人で予防対策を徹底することが有効な対策と言われております。

今年は、新型コロナウイルスの感染状況を把握し、慎重に且つ適正な判断をしながら、住民の皆様のニーズを的確に把握し、信頼され、ご理解頂けるような事業の推進に全力をあげて取り組んでまいりたいと考えております。

結びになりましたが、この新たな年が北海道会並びに空知支部の向上発展、さらには会員の皆様にとって大きな飛躍の年となりますようご祈念申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

